

市長あいさつ

呉市は、市域面積の約55%を山林が占め、平坦地が少なく急峻な地形を構成しており、島しょ部を含め約300kmの長い海岸線を有しています。

また、二河川、黒瀬川、野呂川などの河川は瀬戸内海へと通じており、山・川・海といった気候温和で豊かな自然に恵まれています。

私たちは、この恵み豊かな自然環境を次の世代につなぐため、平成11年3月に、環境保全について基本理念を定めた呉市環境基本条例を制定しました。この条例は、市民・事業者・市役所の責務を明らかにするとともに、環境保全に向けた施策を総合的かつ計画的に推進し、将来の市民の健康で文化的な生活の確保に寄与することを目的としています。平成12年には、この条例の理念に基づいた呉市環境基本計画を策定し、環境政策に取り組んできたところです。

その後、世界中で地球温暖化が原因と考えられる異常気象の多発、生物多様性の喪失、さらにはプラスチックごみによる海洋汚染問題など新たな課題が生じています。こうした環境を取り巻く様々な事象の変化に的確に対応していく必要性から、このたび「第3次呉市環境基本計画」を策定しました。

本計画では、「気候変動への対応」、「生物多様性の保全」、「地域環境の保全」、「循環型社会の構築」、「持続可能な社会の基盤づくり」の5つを基本方針の柱とし、環境問題の解決に向けた総合的かつ包括的な施策を盛り込んでいます。

また、「気候変動への対応」については、呉市地球温暖化対策実行計画（区域施策編・事務事業編）を本計画に組み込み一体的に定めています。国の目標に準じて2013年度を基準として温室効果ガスの排出量を2030年度までに46%削減し、2050年には実質ゼロを目指すこととしており、「ゼロカーボンシティの実現」に向けて、市民・事業者・市役所が一体となって積極的に取り組んでまいりたいと存じます。

おわりに、本計画の策定に当たり、「呉市の環境」に関するアンケート調査や市民意見公募（パブリックコメント）におきまして、市民の皆様からご意見をいただき、心から感謝申し上げます。

令和5年3月

呉市長 新原芳明

